

令和5年度 第2回長崎市文化振興審議会 議事録 (第2部)

日 時：令和5年10月6日（金） 14：00～16：30

会 場：第1部 市役所7階 大会議室

第2部 市役所5階 第1・第2委員会室

次 第：第1部 1 新たな文化施設の整備等について

第2部 2 文化振興施策について

(1) 部活動地域移行について

(2) 国民文化祭について

(3) 長崎市自主文化事業の取組みについて

次第 第2部 2 文化振興施策について【意見交換】

(1) 部活動地域移行について

【事務局（学校教育課）】

資料4 部活動地域移行について説明

【会長】

長崎市独自で何かをやるということではなくて、文科省の流れの中から、長崎市もなかなか厳しい状況で、文化団体の皆さんがいるので子供たちのために力を貸してほしいという説明と受け止めればいいか。

とてもいいと思うが、県で募集したとき、あまり手が挙がらなかった。給料が安すぎる。「何百円で働け」のようだが、根本的にスキームが間違っていると私は思う。意見・質問はあるか。

【委員】

知人に部活動の指導者の話が来たが給料が安すぎて、受けることができなかったという話を聞いた。必ずしも指導だけで生計を立てている人ばかりではない。ある程度だったら、子供たちのためなら、という気持ちを持っている人もたくさんいると思うが、専門的な指導者としてほかにもやっている方は納得できるギリギリのラインがあると思う。

【委員】

学校の運動会で踊るため指導に来てほしいということで、何校か民謡舞踊連盟の指導者が参加しているケースもある。

よく長崎市の運動会で見るのが、どこの学校に行っても、そしてどの年も同じ踊りを踊っている。それは何か残念でさみしいと前から思っていた。日本全国にいろんな楽しい民謡がある。今、ダンスも必須カリキュラムなので、ぜひ日本の伝統的なことも皆さんにもっと深く学んでいただきたい。

興味がある子はいて、個別にうちの団体で踊っている子供たちもいる。そういう子たちが各学校には少ないだろうが、集めて完全にボランティアで指導して構わない。

うちは指導者に主婦の方が多く、趣味でしているような方がほとんど。何人か専従で指導している者もいるので、その辺は全然派遣して構わない。指導が必要であれば、協力させていただきたい。

【委員】

ダンス関係は、色々な学校から頼まれたところに指導者を派遣するということをしているが、市内において何か謝礼金額等の決まり事はあるのか。

おそらく協力したい方はたくさんいると思う。すでに高校生のクラブ活動等には、何人か派遣で行っていると思う。小・中学生について決まり事等提示があれば動ける協力体制はできているが、何もないから動けない状況。具体的に教えていただきたい。

【事務局（学校教育課）】

謝礼金に関しては出ているが、活動ごと、学校ごと、部活動ごとにそれぞれ異なっているというのが実際のところ。一定金額というのは特に設けてはいないというのが答えとなる。

学校単位、部活動単位で決めていると言う形になる。高くなつては困るし抑えないと困る家庭もあるだろう。ただいくらなら妥当なのかということ、決まりも何もないという中で、非常に困っている。

【委員】

先生がたもそれぞれ生活があるので、なかなか見えない状況で動かすというのは難しいと思うがどうか。

【会長】

いろいろあると思うが、今日はあと二つほど議題があるため、どこかで打ち切りたい。何かほかにも質問もあるようだが、今日はなにか答えを出したいということではなく、内容を紹介し、今後どのような方向性を見出せるかということの理解で良いのではないか。出発点は学校の先生が忙しくて土日は部活の指導できない。それを地域の皆さんにお願いしたい。働き方改革のあたりから来ているかと思う。それから教員採用が偏っていて、技能教科の教員を採用していないという問題点もあるが、それは置いておいてまたということでもいいのか。よければ今日はそういうことでまとめさせていただく。

また時間をとり、少し話ができるかもしれない。

あと二つほど議題があるが、時間が迫ってきているので国民文化祭について少し時間いただいで話し合いたいと思うが、よろしいか。

では、二つ目、国民文化祭の議題に移る。

【第2部】 次第2 文化振興施策について【意見交換】

(2) 国民文化祭について

【事務局（文化振興課）】

資料5 国民文化祭について資料説明

【会長】

なかなかこの審議会で話すチャンスがなかったため、今日は時間が許す限り、質問・意見を伺って、理解を深めたい。

私の感覚的には大分遅れているような気はする。もう2年を切っている。文化団体も準備が必要だろうし、会場の手配や稽古をしなければいけない。6月に予算が通ったのならば早く、市の実行委員会を作り、そこで内容を揉んでいかれたらいい。ホールの問題もあっていろいろ大変だとは思いますが、少し遅い気がする。

【委員】

おそらく市町で担当するところは、市独自に行う事業がいくつかあって、それ以外は、それぞれの市町村に属する団体の事業が長崎市の中で開催されるようなイメージ。一応、私どもも、行政はどうあれ、これをご縁として、組織の強化もしたいし、文化振興に役立てたい。長崎県でやるという報道があった時点から準備に取り組んでいる。私は公益社団法人の日本フォークダンス連盟の理事をやっていて、連盟はこういう国民文化祭でいろいろイベントやってきたが、しばらくやっていなかった。長崎の前の岐阜でフォークダンスの全国大会をやるということでそれに関わる。連盟には部門が五つあり、その中で一番大きなのがフォークダンスでその次は日本民謡。フォークダンスは民族舞踊なので、世界にいろいろな舞踊があるように、日本にも日本の民族舞踊である民謡というのがあるため、日本民謡の部門がある。今度は日本民謡の全国大会的なものをやりたいという話が本部から出ているので是非相談したい。

【委員】

今後のスケジュールの中で長崎市実行委員会の設置とあるが、この実行委員会と文化振興審議会との違いはなにか。これはどういう位置づけにいるのか。決め事というのは、この実行委員会で決めるのか、文化振興審議会の中で何か決めるのかその線引きがよくわからない。

【事務局（文化振興課）】

国民文化祭の決定機関としては実行委員会となる。ただその中で、例えばこれまでも、長崎の文化振興をどう進めていくかということについては皆様のご意見を賜ってきたので、

そういったものを、国民文化祭を機会にどう具現化していくかというところについての意見は皆さんからいただきたい。繰り返すが、審議会の中で国民文化祭について何かを決定するというのではなく、決定事項は実行委員会の中で決めていくため、皆さんの意見をいただきたいというふうに考えている。

【委員】

この実行委員会で何か提起がかけられて、それについて皆さんがどう思うか意見を言うということか。

【事務局（文化振興課）】

実行委員会の中でその場で決めることができるものと、そうでないものとおそらく出てくと思う。その中でこれは審議会の皆様にもご意見を賜った方がいいというものについては、持ち帰りをさせていただくという形になると思う。ただ、実行委員会の中には様々な、例えば全国プログラムをやるにあたってそれに関連した文化団体の皆さんにも参画していただくようなこともあるかと思うので、この審議会委員の中から実行委員会に参画する方も出てくるかもしれない。

【委員】

実行委員会を設置してからの話になるのか。

【事務局（文化振興課）】

そうである。

【副会長】

担当の問題だとは思うが、ながさきピース文化祭は全国障害者芸術・文化祭と一体であるというところがとても大事なので、今の説明だけだと国民文化祭のことだけのように、少し聞こえた。おそらく文化振興課が担当するのが、国民文化祭だけなので、その説明になっているのかと思うが、一方で、文化振興審議会ですべて障害者芸術に関して審議しない方がいいのかというところもそうでもないような気がする。これは一体であるということがとても大事な部分だと思うので、注意喚起的な意味での意見である。

【事務局（文化振興課）】

国民文化祭を文化振興課が所管して障害者芸術・文化祭をどちらが所管するのかはまだ決まった状況ではないが、我々として国文祭と障文祭は一体ととらえている。説明内容が国文祭よりになってしまい申し訳ない。そのため、皆さんにも国文祭・障文祭どちらの方にもご意見をいただきたいと考えている。

【会長】

ほかにはよいか。三つ目の議題は終わったが、今日は時間がなくなってしまった。今、説明があった国文祭の中で、長崎市で全国大会が開催されるものについては、当然これはすぐ実行委員会で検討されるかと思う。それとは別に全国大会ではないが、長崎市ならではの企画というのも当然出てくると思うので、それも実行委員会で話をすると思う。そのときに、先ほど「長崎市ではどんな文化活動がされているかというのを調査して」という話があったが、調査しなくてもそれを一番把握しているのは文化振興課なので、今さら調査しなくてもよいのではないか。

例えば、三つ目の議題の「市の自主文化事業の取り組み」というのを今日は時間がなくて話せないと思うが、その中できつといくつもの芽がある。あるいは国文祭に繋がっていく、あるいは国文祭を契機として活動を進化するというものがたくさんあるような気がする。その辺を少し整理して関連のある部分については文化振興審議会でも少し話をしていただけるといいかなという気がする。その辺はどうか。

【事務局（文化振興課）】

確かに我々文化振興課としては、長崎市でやっているものは調査をしなくても、当然把握しているものというふうに思うが、ただ一方で、やはり文化芸術の裾野というのは非常に広く、新しく出てくる。例えば、アートの分野の方など新進気鋭の方というのはたくさんいて、外からも流入してくる。そういった意味での調査ということで説明をさせていただいた。今いただいたご意見をもとにしっかりやっていきたい。

【会長】

きちんと時代に敏感に調査して素晴らしいと思う。またこの話題について少し取り上げる時間があればと思うので、実行委員会ができたという報告もしていただいた方が良い。気が付いたらできていたではなく、こんな感じで進んでいるということを紹介いただければと思う。

三つ目の議題は、今日はもう時間がないので次回に回すこととする。

以上